

2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 HEROZ株式会社
 コード番号 4382 URL <https://www.heroz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 隆弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森 博也 TEL 03(6435)2495
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績（2024年5月1日～2024年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	1,403	25.5	166	△2.1	74	1.4	56	△7.4	△45	—
2024年4月期第1四半期	1,118	—	170	—	73	—	60	—	△47	—

（注）包括利益 2025年4月期第1四半期 85百万円（1,121.8%） 2024年4月期第1四半期 7百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	△3.04	—
2024年4月期第1四半期	△3.14	—

※EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却＋のれん償却額＋株式報酬費用）

（注）1. 2023年4月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

2. 2024年4月期第1四半期及び2025年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第1四半期	8,006	5,231	59.4
2024年4月期	7,691	5,143	61.5

（参考）自己資本 2025年4月期第1四半期 4,752百万円 2024年4月期 4,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	23.9	500	10.8	450	22.0	30	—	1.99

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却＋のれん償却額＋株式報酬費用） 2025年4月期（通期）1,000百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期1Q	15,045,152株	2024年4月期	15,045,152株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	98株	2024年4月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期1Q	15,045,141株	2024年4月期1Q	15,027,161株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により景気は緩やかに回復しているものの、欧米における高い金利水準の継続等による景気の下振れリスクが懸念されています。

その一方で、情報サービス業界においては、従来なかったスピード感での技術革新や、少子高齢化・生産年齢人口の減少等を受け、デジタル技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する投資が引き続き拡大を続けています。特に、AI市場においては、OpenAI社による「ChatGPT-3.5」「ChatGPT-4.0」のリリースに端を発した、各産業におけるAIトランスフォーメーション（以下、「AIX」という。）に関する投資の加速が続いており、まさに現在進行形で、LLM（Large Language Model：大規模言語モデル）を含むAIの技術競争・需要拡大・社会実装が急激なスピードで進んでおります。なお、当社グループでは、AIXとは、AIを社会に浸透させることにより、その力を通じて既存の業務プロセスやビジネスモデル等を含めて社会全体に抜本的な変革を起こすこと、と捉えております。

また、SaaS市場においても、導入の需要のみならず、「ニーズの多様化に伴うSaaS間連携」「統合管理の複雑化によるセキュリティ要件の高度化」等に関する需要拡大が見込まれるほか、セキュリティ市場においても、サプライチェーンを狙ったサイバー攻撃や一般企業・病院等を狙うランサムウェア被害（身代金要求型ウイルス）は増加しております。また、企業によるクラウドサービスの利用やDX化の推進等により、セキュリティ対策やセキュリティ人材の育成が求められております。

このような環境の中で、当社グループは、HEROZ3.0として「AI BPaaS」を掲げ、単なるSaaSツール提供会社にとどまらず、生成AI等を駆使し、大幅に自動化されたWorkというかたちで価値提供を行い、社会全体にAIXを起こしていくことを目指しております。

また2024年8月には、当社のグループ会社であるVOIQ株式会社が、bizy株式会社の展開するセールス支援事業・コンタクトセンター事業の譲り受けを行いました。本事業譲受を通じて、セールス領域・コンタクトセンター領域において、当社グループのAI関連技術を活用し、各種課題の解決を推し進めていきたいと考えています。

なお、セグメント別の経営成績の概況は以下の通りです。

（AI/DX事業）

AI/DX事業は、当社グループに蓄積されたAI・SaaS関連技術・ノウハウ・データ等を活用し、AI関連ソリューションの提供やSaaS導入支援・SaaS間連携開発等を提供することにより各企業・業界のAI/DX化推進を目指すセグメントとなります。当セグメントは、「BtoCサービス」と「BtoBサービス」に分類されます。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループのAI/DX事業については、BtoC領域における将棋への更なる注目度向上やコラボ等のイベント企画、BtoB領域における稼働案件数の増加等の効果により、安定した収益を上げました。

BtoC領域については、伊藤匠叡王の初タイトル獲得に伴う将棋界への更なる注目度向上や、人気連載漫画「僕とロボコ」とのコラボ、棋神戦ヨーロッパ大会の開催等により、「将棋ウォーズ」「棋神アナリティクス」「棋神レーニング」ともに安定した収益を上げました。また、BtoB領域についても、株式会社ティファナ・ドットコム の損益が新たに貢献したことに加え、オズガニックでも稼働案件数が増加するなど、収益が拡大しております。

当セグメントにおいて、LLMの活用・社会実装は事業戦略の中核となるテーマであります。その取り組みとして、2024年5月に生成AIを活用したエンタープライズ向けAIアシスタントSaaS「HEROZ ASK」を本リリースしました。リリース後も、対話形式の機能改善やUI・デザインの改善、各種機能追加等に取り組んでいるほか、事業面でも、「AI・人工知能EXPO 2024」での出展や、デジタルマーケティングの強化、ユースケースに関するウェビナーの実施等を行い認知向上に努めており、今後も、開発面・事業面が一体となって事業拡大に取り組んでまいります。

（AI Security事業）

AI Security事業は、グループ会社であるバリオセキュア株式会社が提供するインターネットセキュリティ関連の事業となります。

同社は、主に中小企業向けのセキュリティ対策を支援するため、「マネージドサービスの対応領域拡大・競争力強化」「成長セキュリティ市場への参入」「既存販売網と異なる新規営業体制の強化」を中期経営計画の目標として定め、実現に向けて人材の獲得、サービス企画・事業開発の強化、ソフトウェア開発等の事業投資を行ってまいりました。

このような状況のもと、売上収益は、マネージドセキュリティサービスではストック型の収益と、その低解約率

（0.8%）及びVarioマネージドEDRのライセンス数増加により前年同期比で増収となりました。また、インテグレーションサービスについてもネットワーク構築の大型案件の納品により前年同期比で増収となりました。

また、費用面に関して、適切なコストコントロールを進めましたが、グループ会社の増加や、事業・サービス拡大に伴う人材採用強化による人件費等の増加、また新規プロダクト（HEROZ ASK・JOINT）への先行投資等により、売上原価・販売費及び一般管理費は増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,403,270千円（前年同期比25.5%増）となり、EBITDA（注）166,687千円（前年同期比2.1%減）、営業利益74,487千円（前年同期比1.4%増）、経常利益56,070千円（前年同期比7.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は45,713千円（前年同期は47,203千円の損失）となりました。また、主にグループ会社における繰延税金資産の取り崩し等により、法人税等調整額36,509千円を計上しております。

なお、当社グループの当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の損益状況については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

（注）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋敷金償却＋のれん償却額＋株式報酬費用

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ315,294千円増加し、8,006,527千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加281,782千円があったこと等によります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ227,284千円増加し、2,775,443千円となりました。これは主に、長期借入金の増加279,324千円があったこと等によります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ88,009千円増加し、5,231,084千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加76,742千円があったこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の連結業績予想につきましては、2024年6月14日に公表いたしました連結業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,738,013	3,019,795
売掛金及び契約資産	798,201	792,572
棚卸資産	191,929	168,661
その他	269,144	265,184
流動資産合計	3,997,288	4,246,214
固定資産		
有形固定資産	262,134	252,660
無形固定資産		
のれん	1,963,704	1,937,889
ソフトウェア	156,670	402,273
ソフトウェア仮勘定	427,173	252,057
無形固定資産合計	2,547,548	2,592,220
投資その他の資産	884,261	915,432
固定資産合計	3,693,944	3,760,313
資産合計	7,691,233	8,006,527
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,442	123,839
1年内返済予定の長期借入金	215,984	382,664
未払法人税等	103,186	14,764
賞与引当金	37,577	51,934
契約損失引当金	50,597	—
株主優待引当金	20,605	16,840
その他	603,667	550,796
流動負債合計	1,168,061	1,140,840
固定負債		
長期借入金	1,188,072	1,467,396
繰延税金負債	6,008	8,006
退職給付に係る負債	7,980	8,820
その他	178,037	150,380
固定負債合計	1,380,097	1,634,603
負債合計	2,548,159	2,775,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,784	21,784
資本剰余金	5,305,332	5,297,333
利益剰余金	△618,113	△663,827
自己株式	—	△123
株主資本合計	4,709,003	4,655,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,571	97,314
その他の包括利益累計額合計	20,571	97,314
新株予約権	58,912	61,413
非支配株主持分	354,587	417,189
純資産合計	5,143,074	5,231,084
負債純資産合計	7,691,233	8,006,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,118,428	1,403,270
売上原価	564,396	754,695
売上総利益	554,032	648,574
販売費及び一般管理費	480,605	574,086
営業利益	73,426	74,487
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	727
その他	85	2,438
営業外収益合計	86	3,167
営業外費用		
支払利息	2,765	2,869
投資有価証券運用損	4,343	4,381
株主優待関連費用	5,715	12,074
その他	163	2,257
営業外費用合計	12,987	21,584
経常利益	60,525	56,070
税金等調整前四半期純利益	60,525	56,070
法人税、住民税及び事業税	60,148	10,670
法人税等調整額	△4,882	36,509
法人税等合計	55,265	47,179
四半期純利益	5,259	8,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	52,463	54,603
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,203	△45,713

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	5,259	8,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,748	76,742
その他の包括利益合計	1,748	76,742
四半期包括利益	7,008	85,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,454	31,028
非支配株主に係る四半期包括利益	52,463	54,603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）、敷金償却及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	41,127千円	46,940千円
敷金償却	2,720	800
のれん償却額	45,033	37,800

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年5月1日 至 2023年7月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計
	AI/DX事業	AI Security事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	474,859	643,569	1,118,428	—	1,118,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,600	240	4,840	△4,840	—
計	479,459	643,809	1,123,268	△4,840	1,118,428
セグメント利益	118,263	216,801	335,064	△261,637	73,426

(注) 1. セグメント利益の調整額△261,637千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年5月1日 至 2024年7月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計
	AI/DX事業	AI Security事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	729,782	673,487	1,403,270	—	1,403,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,446	—	1,446	△1,446	—
計	731,229	673,487	1,404,716	△1,446	1,403,270
セグメント利益	139,239	210,319	349,559	△275,072	74,487

(注) 1. セグメント利益の調整額△275,072千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。